

第十四回 明月之舎

平成二十四年五月五日(土) 一時半始
於。国 立 能 楽 堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷四一―二八一―
☎〇三(三四三三)―二三三一

能 花 月 加藤慎一郎

独吟 笠之段 梅若万佐晴

仕舞 弱法師 梅若万三郎

狂言 昆布売 山本 則俊

能 恋重荷 加藤 真悟

第十四回 加藤真悟明之会

平成二十四年五月五日(土) 一時半始
於・国立能楽堂

解説 表 きよし

(一時五十分頃)

花月 能

シテ 花月 加藤慎一郎
ワキ 旅の僧 村瀬 提
アイ 清水寺門前の者 山本泰太郎
笛 成田 寛人
小鼓 鶴澤洋太郎
大鼓 大倉慶乃助

後見 中村 裕
梅若万佐晴

中村 政裕 梅若 泰志
梅若 久紀 八田 達弥
古室 知也 梅若 紀長
梅若 雅一 長谷川晴彦

笠之段 独吟

梅若万佐晴

かさのだん：貧困のため離別した夫婦が和歌の縁で再び結ばれるテーマを持つ「蘆刈(あしかり)」の一部。夫が節を面白く歌いながら蘆を売る様子を一人で謡います。

弱法師 仕舞

梅若万三郎

梅若 久紀
伊藤 嘉章
青木 一郎
遠田 修

よるぼし：梅の匂いに気持ちを通わず清純な盲目の弱法師が、春のお彼岸の中日、大阪の天王寺の縁起を曲舞に舞つところを紋付袴姿で舞います。

昆布売 狂言

シテ 昆布売 山本 則俊
アド 何某 山本 則重

休憩 十五分

(三時五十分頃)

恋重荷 能

前シテ 山科の莊司 加藤 真悟
後シテ 山科の莊司の靈 加藤 真悟
シテ 白河院の女御 青木 健一
ワキ 臣下 安田 登
間 従者 遠藤 博義
笛 松田 弘之
小鼓 幸 信吾
大鼓 安福 光雄
太鼓 観世 元伯

後見 青木 一郎
梅若万三郎
中村 裕

古室 知也 遠田 修
梅若 泰志 梅若 紀長
長谷川晴彦 伊藤 嘉章
梅若 雅一 八田 達弥

主催 加藤真悟明之会
(終了予定五時十分頃)

◆事前講座のご案内：能をよりお楽しみいただくために：本公演の見所などについて解説いたします。
日時 4月28日(土)午後2時～4時
会場 本行寺(東京都荒川区西日暮里3-1-13)
講師 加藤真悟
参加費 1,000円(チケット購入者・友の会会員は半額)

花月

七歳の子どもを見失つて諸国をめぐつて居る僧が清水寺に参詣していると、呼び出された美少年花月が恋の歌を歌つたり、弓矢の型を見せ、曲舞で清水寺の縁起を舞つたりしているうちに、自分が花月の父と名乗り再会します。再会の喜びを鞆鼓を打つて、天狗にさらわれた身の上などを語り、これからは父子で仏道修行の旅に出ようと立ち去ります。

昆布売

武士の何某が外出をしようとしたが、お伴をすゝめる者がいない。そこで往來に出て、適当な者を探していると、通りがかつたのは若さの小浜の召し(献上)の昆布を売る者だつた。いやがる男に無理やり武士の太刀を持たせる。怒つた昆布売りは油断させて太刀を抜いて脅し、武士に「昆布召しませ」と売り声をいろいろに変えて...

恋重荷

白河院の庭の菊の手入れをする山科莊司という老人が、ふとしたことで女御の美しい姿を見て恋路に落ちる。美しい布に覆われた荷を持って庭をめぐつたら女御がまた現れるという言葉を真に受けて老人は持ち上げようとするが、持ち上げられない。老人はこのことを恨んで自害する。(中入り) このようにして死んだ者の一念は恐ろしいので、一目見てやろうとして見るが、髪を振り乱した莊司の霊の情念によつて立ち上がれなくなつてしまします。そこへ老人の亡霊があらわれ女御に恨みを述べて責めるが、やがて心も和らぎ、未永くその身を守ることを誓つて消える。



加藤真悟(かとうしんご) 昭和33年生。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎師に師事。観世流準職分。日本大学文学部哲学科卒。在学中に現万三郎師より謡・仕舞の稽古を受け、梅若万三郎家に内弟子入門。昭和62年より梅若研究会例会にてシテを勤める。各地にて能の普及に努める。海外公演に多数参加。平成11年より毎年「明之会」(自主公演)を開催する。一方「真謡会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。
加藤慎一朗(かとうしんいちろう) 平成6年生まれ。初舞台は四歳。仕舞「老松」(第一回明之会。以来「船弁慶」「隅田川」「望月」など数々の子方方を勤める。昨年の明之会「経正」で初シテ。



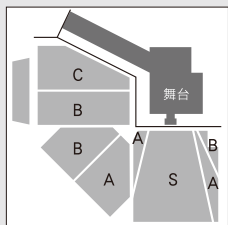
「花月」加藤真悟 撮影・前島吉裕

【入場料】

- 指定席S 九,〇〇〇円
- 指定席A 七,〇〇〇円
- 指定席B 五,〇〇〇円
- 指定席C 三,〇〇〇円
- 学生割引 各一,〇〇〇円引き(25歳まで)

【お問い合わせ・お申し込み】

- 加藤真悟 045(481)8704
- ホームページ <http://shingo.from.tv>
- 携帯Eメール shingodsikato@ezweb.ne.jp
- 梅若研究会 03(3466)3041
- 友の会会員募集



入会金 一,〇〇〇円/年会費 一,〇〇〇円
特典
・明之会公演の入場料一割引(一会員三席まで)
・会報や演能、勉強会のお知らせなどお届けします

表写真「恋重荷」梅若万三郎 撮影・前島吉裕

能を知る 愉しみ

能楽体験講座

能の話、謡と舞の基本の型の体験をします

『鶴亀』を謡ってみよう

日時 ■平成24年5月24日(木)、6月28日(木)、7月26日(木)、8月30日(木)、9月27日(木) 午後0時～1時40分
会場 ■本行寺(東京都荒川区西日暮里3-1-3 JR日暮里駅西口1分)
講師 ■加藤真悟
受講料 ■10,000円(5回)、教材費 1,500円
●ご予約・お問い合わせ ☎045-481-8704 加藤真悟